

平成30年度 学力向上アクションプラン

尼崎市上坂部小 学校

学力調査結果等から見た 学力向上についての課題	課題解決に向けた学校の取組(基礎力の定着、活用力の育成)			本年度の具体的な目標
	授業力向上への取組	学習習慣定着に向けた取組	その他の取組	
全国学力テストの国語においては、毎年全国平均レベルを上回っている。特に話す力や読む力のレベルが高いのは、昨年度に引き続きアクティブ・ラーニング型の学び合う対話を取り入れた国語の授業を実践してきた成果であると言える。 一方算数においては、図形や数量関係に関する内容で全国平均を下回っている。また、学習意欲の低さや読書時間の短さに本校の課題が見られる。 学習に主体的に取り組み、自らの力で課題を解決したり、友だちと関わり、対話しながら学習に取り組み、深い学びをめざして、意欲を高めていく必要がある。 今年度も国語科を中心に教科研究に取り組み、加えて算数でも、主体的・対話的な授業を取り入れるようにしていきたい。 また、一人一人の実態に応じた、きめ細	○国語科の研究を通して、主体的に聴き合う授業モデルを確立する。 ○校内研究を充実させるため研究対象である国語科における研修会に講師を招聘する。 ○教員の授業力向上のために自主研修会を実施し、若手教員育成をはかる。 ○教員の生徒指導力を高めるため、児童理解についての研修会に講師を招聘する。 ○学力向上の成果のある先進校を視察する。	○各学力層に応じた学習支援の実施(補充、発展的な学習) ※学力向上事業の授業補助支援を活用 ○レッツトライ(朝の学習)時間の確保において学習習慣と基礎学力の定着をはかる。 週1時間15分×35週 ○家庭自主学習ノートの活用 ※学力向上事業学力定着支援	○兵庫型教科担任制の活用(きめ細やかさと専門性) ○ICT機器を活用した授業実践 ○読書量の増加と学習意欲の向上を図るため、ボランティアによる読み聞かせを実施する。 ○3学期末に学習アンケートを実施し、取り組みの結果	○「国語の学習が好き。」と回答した割合を、3学期末のアンケートで55%を越えるようにする。(昨年度52%) ○「友だちの前で自分の意見や発表することが得意」回答した割合を3学期末のアンケートで50パーセント以上にする。(昨年度42%) ○「算数の授業がわかる。」と回答した割合を3学期末のアンケートで75%以上にする。(昨年度70%) ○「家で、自分で計画を立てて勉強をしている。」と回答した割合を55%以上にする。(昨年度50%)

校種間連携	活用する支援内容		家庭・地域との連携
	支援内容	具体的内容	
○小から中への円滑な接続を図るための教員間の情報交換の機会充実 ○中学校生活について生徒会の説明の実施 ○合同研修会の実施(中学校教員による小学校の授業研究参加及び小学校教員による中学校の授業研究参加)	(1)アクティブ・ラーニング推進支援 (2)先進校視察支援 (3)授業補助支援 (5)学力定着支援 (6)地域人材活用支援	(1) 元京都教育大学附属桃山小学校副校長 川端健二氏、元奈良女子大学特任教授 相田萬里子氏を講師として招きアクティブラーニング推進のため、指導助言を受ける。 (2) 先進校委視察支援 富山市立堀川小学校の研究大会に参加し、校内研究の参考とする。 (3) 授業補助支援 国語の授業において聞き合い交流の準備のための児童の一人学びの支援や学習のふり返りを充実させるための支援を行う。算数において課題解決のための話し合い活動を充実させるために必要な支援を行う。 (5) 家庭においても主体的・計画的に学習に取り組む姿勢を育てるため、家庭学習の手引きや見本を作成し、自主的に予習・復習を進めることで学習習慣の定着を図る。 (6) 本に関心を持つことと読書量の増加から学習意欲を向上させるため、ボランティアによる読み聞かせを行う。	○「うち読」の実施による読書力の向上 ○家庭学習ノートの活用による学習習慣の定着 ○学力調査結果の公表 ○学校ホームページの発信